



評価のポイント

CL-1.看護実践能力：ニーズをとらえる力

【18-1】急性増悪のハイリスクにあるケースのフィジカルアセスメント

1. 急性増悪を起こしやすい疾患を3つ以上述べてください。

- 慢性閉塞性肺疾患 COPD (Chronic Obstructive Pulmonary Disease)
- 慢性心不全 CHF (Chronic Heart Failure)
- 慢性腎臓病 CKD (Chronic kidney disease)
- 間質性肺炎 IP (Interstitial pneumonia)
- 糖尿病DM (Diabetes Mellitus) の急性合併症

2. 急性増悪ハイリスクにあるケースの特徴とは？

慢性疾患に加え加齢によるフレイルがあると急性増悪のハイリスク状態となる。

3. フレイルについて説明してください。

加齢に伴って生理的予備能が低下することでストレスに対する脆弱性が亢進し、機能障害、要介護状態、死亡などの不幸な転機に陥りやすい状態

4. 急性増悪の重要なきっかけは何でしょうか？

風邪やインフルエンザなどの感染症と脱水が重要なきっかけである。

その他、下記も急性増悪のきっかけである。

- ストレス（環境の変化）
- 生活習慣（暴飲暴食・アルコール・過活動・睡眠不足）
- 侵襲的な手術や処置
- 怠薬 薬剤による影響
- 他の疾患の合併（消化管出血など）
- 誤嚥
- アレルゲンへの暴露
- 原因不明